

海外作家賞 / クラウス・ミッテルドルフ (Klaus MITTELDORF) = ブラジル・サンパウロ市在住

受賞対象: 作品「THE LAST CRY」(1998)、「INTROVISION」(2006)の制作に対して



1953(昭和28)年生まれ、ブラジル・サンパウロ市出身。1979(同54)年、ブラズ・キューバス大学建築都市科卒。卒業後から写真や映画に携わり、ファッションや広告写真の世界で活躍。ヨーロッパでも高い評価を得ています。社会とのかかわりの中での写真表現に重きをおき、コンスタントに作品を発表しています。

<主な個展>  
1981(昭和56)年、Fiorucci Gallery(リオデジャネイロ、サルバドール、ブラジル)を皮切りに、近年は2007(平成19)年、Pinacoteca do Estado de São Paulo, "Introvisão"(サンパウロ、ブラジル)、2008(同20)年、Galerie Sycamoreart, "Klaus Mitteldorf"(パリ、フランス)など。ほかにグループ展多数。

<出版物>  
近作に2006(平成18)年、「SENACフォトシリーズ」「マーメイド」(Klaus Mitteldorf and Sven Hoffmann, Gingko Press, 米国)「イントロビジョン」(Cosac& Naify Editora, ブラジル)など多数。

<受賞>  
1987(昭和62)年、Prêmio Profissionais do Ano / Produção Fotográfica(リオ・グランデ・ド・ソル、ブラジル)。1991(平成3)年、Prêmio Colunistas de Produção Fotográfica(サンパウロ、ブラジル)。2002(同14)年、Prêmio Fundação Conrado Wessel de Fotografia(サンパウロ、ブラジル)。2008(同20)年、Biennale D' Arte Internazionale di Roma, 3rd Place(ローマ、イタリア)



シリーズ「INTROVISION」2006より



シリーズ「THE LAST CRY」1998より



シリーズ「THE LAST CRY」1998より

新人賞 / 澤田知子(さわだ ともこ) = 米国ニューヨーク市在住

受賞対象: 作品「ID400」以降の一連の作品制作に対して



1977(昭和52)年生まれ。神戸市出身。成安造形大(写真クラス研究生)修了。同大学客員教授。

2000(平成12)年度キャン写真新世紀特別賞を受賞。定型化した肖像を量産する証明写真のブースで、同世代400人のさまざまな女性像を演じ、表層を重視する現代社会への批評を「ID400」のでデビュー作にまとめた。

'04(同16)年、作家への登竜門として知られる木村伊兵衛写真賞、ニューヨーク国際写真センターの第20回年度賞ICP Infinity Award for Young Photographer 賞を受賞。

<個展>  
最近展に「Costume」ZABRISKIE GALLERY(2004(平成16)年、米国ニューヨーク)、「ID400」The Third Gallery Aya(同、大阪)。「Costume+cover」木村伊兵衛写真賞受賞展(同、ニコミナルタプラザ・東京)、「School girls」MEM(2005(同17)年、大阪)、「MASQUERADE」KPO(2006(同18)年、キリンプラザ・大阪)、「Early Days」MEM(同、大阪)、「School girls」ZABRISKIE GALLERY・ニューヨーク、アメリカなど。ほかに国内、海外グループ展多数。

<出版物>  
「ID400」(2004(平成16)年、蒼穹舎)、「OMIAI♡」(2005(同17)年、同)、「School Days」(2006(同18)年、同)、「MASQUERADE」(同、赤々舎)、「cover/Decoration」(2008(平成20)年5月の出版予定、同)

<受賞>  
キャン写真新世紀2000 [特別賞受賞](2000(平成12)年)、兵庫県芸術奨励賞(2004(同16)年)、木村伊兵衛写真賞(同)、The Twentieth Annual ICP Infinity Award for Young Photographer(同)、神戸市文化奨励賞(2005(同17)年)



「ID400」1998より



「ID400」1998より



「School Days / A』2004

国内作家賞 / 檜橋朝子(ならはし あさこ) = 東京都在住

受賞対象: 作品「half awake and half asleep in the water」の制作に対して



1959(昭和34)年、生まれ。東京都出身。早稲田大学第二文学部美術専攻卒(89年)。在学中からカメラ誌『写真時代』が募った森山大道氏主催の「フォトセッション」に参加、グループ展や個展活動を開始しました。受賞対象の「half awake and half asleep in the water」は、海や湖の揺れる水面にレンズの視点を合わせ、水面下と水の上の光景をとらえたものです。「覚醒(せい)と眠りのはざまにゆだねた」偶然に依拠する制作に挑む作家の新境地への評価となりました。本作品の写真集が昨年秋、ナツラエリ・プレス社(米国)から出版され、海外からも高い評価を得ています。

<主な個展>  
最近展に2005(平成17)年、「half awake and half asleep in the water 04/05」(ツァイト・フォトサロン、東京)、2006(同18)年、「アフタフニフニ」(ギャラリー冬青、東京)、2007(同19)年、「half awake and half asleep in the water 06/07」(ツァイト・フォトサロン、東京)など。国内、海外でグループ展多数。

<出版物>  
近作写真集「フニクリフニクラ」(2003(平成15)年、蒼穹舎)、「half awake and half asleep in the water」(2007(同19)年、ナツラエリプレス)など。

<受賞>  
日本写真協会新人賞(1998(平成10)年)、第16回写真の会賞(2004(同16)年)



シリーズ「フニクリフニクラ」2003より



シリーズ「half awake and half asleep in the water」2007より



シリーズ「NUE」1997より

特別賞 / 小畑雄嗣(おばた ゆうじ) = 東京都在住

受賞対象: 作品「二月」(Wintertale)の制作に対して



1962(昭和37)年、神奈川県藤沢市生まれ。'85年日大芸術学部写真学科卒。出版社写真部勤務の後、建築写真家アシスタントを経てフリーランス。企業誌、一般誌、広告等の依頼撮影のかたわら、単独取材による撮影が続いている。

'87年出版社勤務時代に上海を撮った作品で太陽賞を受賞。'97年コニカ奨励賞の賞金でサハリンへ渡り「見えざる国境」をまとめた。その後、ポルトガル・マデイラ島の風景写真集「Bird of Paradise: MADEIRA」(01年)を刊行。受賞対象となった写真集は、北海道の冬の原野に舞う雪の結晶、夜のリンクをスケートで疾走する少年達、白いウインターテールの幻想世界を描きました。

<個展>  
「海市蜃楼」(1987(昭和62)年、オリンパスギャラリー、新宿・東京)を皮切りに、近年は「冬と夏の光景・クロアチア」(2004(平成16)年、ニコミナルタプラザ、新宿・東京)、「マデイラと二月」(2008(同20)年、青山ブックセンター、東京)。ほかに国内グループ展。

<出版物>  
「見えざる国境」(1998(平成10)年、私家版)、「Bird of Paradise: MADEIRA」(2001(同13)年、平凡社)、「二月」(Wintertale) (2006(同18)年、蒼穹舎)

<受賞>  
第24回太陽賞(1987(昭和62)年)、コニカ写真奨励賞(1995(同7)年)、日本写真協会新人賞(1996(同8)年)



シリーズ「二月」2007より



シリーズ「二月」2007より



シリーズ「二月」2007より